

貴船・鞍馬

イラストマップ

イラスト / 志水恵美

京の水源地として古来より水の神様として崇敬を集めている洛北貴船。

鳥居右源太は貴船神社の社家として、永年にわたって、ご奉仕をさせていただいておりました。寛政元年には右源太・左源太・小源太が当地に名を連ね、貴船の豊かな自然と水に寄り添い、営みに励んで参りました。賀茂川の源流・貴船川の清らかな瀬音に耳を傾けながら、心地よい風と優しい緑のなか、名物川床料理やポタン鍋など、季節の料理をお楽しみください。

源義経は平家との戦いにおいて大活躍をするが、実兄、源頼朝に命を狙われ奥州の衣川で亡くなったといわれています。義経、幼名「牛若丸」は7歳の時に鞍馬寺の覚日阿闍梨の弟子となり、昼は学業に励み、夜は僧正ガ谷(鞍馬山から貴船にかけての一带の山や谷のこと)で天狗に兵法、剣術を習ったといい、貴船から鞍馬に至る一带には、今も牛若丸ゆかりの遺跡が点在しています。

山深い貴船・鞍馬の一带は、かつて御所の御猟場で、熊や猪、鹿などを捕獲していました。冬季には、貴船の住人が山で猟を行うので、多くの店でポタン鍋を提供しています。

由岐神社
毎年10月22日に行われる「鞍馬の火祭り」は、鞍馬寺の鎮守社由岐神社の例祭で、炎の海が里中を真っ赤に染める雄大なお祭りです。

宝亀元年(770)鑑真和尚の高弟鑑禎(かんてい)上人により鞍馬寺が開かれました。

西門 貴船川沿いにある西門から鞍馬寺本殿金堂までは、義経堂を經由して山道を40分、さらに仁王門まで徒歩30分、仁王門から叡山電車鞍馬駅まで徒歩3分の道のりでハイキングコースとして人気があります。

「物思へば沢の蛭も我身よりあくがれ出ずる玉かとぞみる」平安時代中期の女流歌人、和泉式部は、夫の心変わりに悩んで貴船に詣でる途中、蛭のあたりにて蛭の飛び交う様子を見て、切ない思いをこの歌に託したといわれています。

貴船神社 奥の宮

船形石は、奥宮本殿の西側にあり、船の形をなし、御祭神の御料の船を石で囲ったといわれています。今もなお、航海者がその小石を携帯して渡航すれば航海安全といわれています。

船形石

結社

貴船神社は、古来、恋を祈る社でもありました。この「結社」には、平安時代の有名な女流歌人、和泉式部の歌碑が奉られています。

至 芹生

兵衛

ひろ文

藤清

貴船倶楽部
741-3039

- ・山菜料理
- ・喫茶
- ・ギャラリー
- (夏季は喫茶のみの営業となります)



左源太
741-2244

- ・川床料理
- ・流しそうめん
- (夏季のみ営業)

右源太
741-2146

- ・川床料理
- ・川魚山菜料理
- ・ポタン鍋
- ・御宿泊



奥の院 魔王殿



ひろや

貴船荘

鳥居茶屋

ふじや

伝兵衛

すもうとおく

たつみ

貴船ギャラリー
741-1117

- ・ローカルアーティストギャラリー
- ・ジョージ ナカシマ家具
- ・カフェ

貴船神社の年中行事

- 1月15日 どんど
- 3月9日 雨乞祭
- 6月1日 貴船祭
- 7月7日 水まつり
- 8月24日 盆踊り
- 11月7日 お火焚祭

貴船観光会(貴船社内)
TEL075-741-4444
FAX075-741-3596

貴船神社は賀茂川の水源にあたることから、水を司る神、高麗神を祭神とし、公的には降雨止雨を祈る神として、民間では男女の仲を守る神、また悪縁を良縁に転ずる神として広く信仰されてきました。

1995年8月

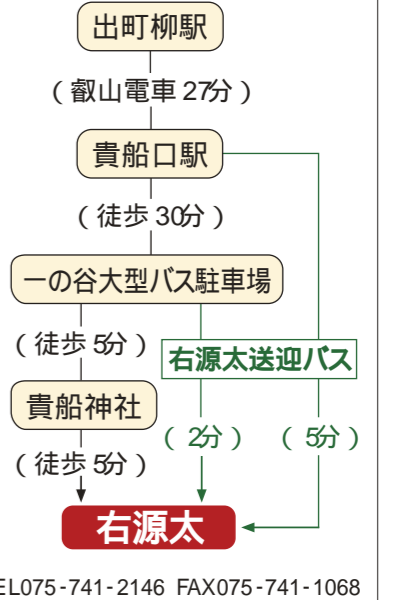
貴船は「水源の森百選」に認定されました。



至 出町柳

至 京都

右源太までのご案内



TEL075-741-2146 FAX075-741-1068

制作 / 株式会社右源太 無断転載を禁ず